



尿素不要の新型ハイブリッドショベル

日立建機日本株式会社 Toshiyuki Sakurai
取締役社長 櫻井俊和

東北リース株式会社 Hiroaki Kanno
代表取締役 菅野浩昭

顧客満足を最優先に、建設機械の開発、販売、レンタル、メンテナンスまでを同一企業内で手掛けている日立建機日本。最高の製品づくり、サービスを追求する企業精神や今後の取り組みについて、東北リースの菅野社長が日立建機日本の櫻井社長に聞いた。

業界改善の一步に
レンタル業へ参入

菅野 きょうはお忙しい中、貴重なお時間をいただきありがとうございます。櫻井社長は出身地でもある東北地域のレンタル事業に非常に精通されておられますね。

櫻井 私は岩手県出身で、当社に入社して宮城県多賀城市にある東北支社に配属後、サービスエンジニアとして盛岡市や秋田市、郡山市などを回り、東北で20年以上勤務していました。東北は非常に所縁の深い地域です。また、当社ではレンタル事業を手掛けるレックという別会社を2000年から全国8地域に立ち上げ、08年には日立建機レックという一つの会社になり、そこで社長などを務めさせていただきました。その時には、日本建設機械レンタル協会の理事として参加させていただきました。ただ、メーカーがレンタル事業を行うことに、各地域のレンタル業者からの反発の

声も相当なものでした。
菅野 そうですね。当時は地場レンタルの仕事が奪われるんじゃないかと。

櫻井 私たちがレンタル事業を立ち上げた狙いの一つは、レンタル業界全体の受注環境の改善でした。レンタル価格には運搬料や保証料など付帯費用が含まれていて、過度な価格競争下ではそれが十分にいただけない状況になります。そして、厳しい経営環境が常態化すると建設機械の流通も細くなります。私たちが適正価格によるレンタル取引を率先して行い、業界全体を少しでも良くしようとしたというのが最大の理由です。その姿勢をこれまで一貫してきたことで、今では私たちのレンタル事業も皆さまに広く理解されてきたと感じています。

最善の営業提案へ
別会社を合併

菅野 そのレンタル事業を日立建機本体に組み込み、同一企業として事業展開することを決め

た理由は何だったのでしょうか。
櫻井 当然ですが、同一グループ内でも販売会社は売る営業、レンタル会社は貸す営業というように、それぞれが同じお客さまに別々の目的で提案をするわけです。各部門が別々の営業提案をするということは、お客さまにとって現時点での最善の提案ができなくなる可能性があります。お客さまに対してのベストな提案を追求するために、別会社ではなく日立建機日本という一つの会社になり、どんな要望にも応えられる体制を築くことが必要だと考えました。
菅野 たしかに御社の営業マンには何でも相談できますし、その都度的確な対応をしていただいています。それに加え、私たちが求める丈夫で使いやすい建設機械をどんどん出されていて、いい機械をつくりたいという気持ちを非常に強くお持ちになられているなと感じています。
櫻井 日立建機は、日立製作所の建設機械製造部門と販売・サービス部門の独立会社が19

70年に合併してできた会社なので、販売担当者やサービス担当者が得たお客さまの声を開発製造部門に直に届けられる環境が当時から整っていました。日本のお客さまは海外に比べ、製品を見る目が非常にシビアです。皆さまの声を製品に反映することで高品質、高性能の製品開発につながってきたと思っています。さらに、これまでの故障、不具合履歴などをすべて集計したビッグデータと建機に付いたセンサによる点検や交換の最適時期を、毎月定期的にお客さまにお知らせしてトータルコストの低減に活用してもらうなどサービス向上にも力を入れています。

今後もお客様から
頼られる存在に

菅野 サービス改善などのソフト

垂直掘削に力を発揮する油圧シリンダ式テレスコラム。地場レンタルにとって特色ある建機選びが同業他社との差別化につながっていく



搭載したオイル監視センサでエンジンオイルや作動油を当社のビッグデータを活用して分析し、お客さま

やサービススタッフなどにレポートとして機械の状態を自動配信するものです。オイルを24時間モニタリングするという業界初の試みで、国内の導入はまだ先ですが、お客様にとってさらなるトータルコストの低減につながります。
菅野 やはり私たちが常に万全の状態に提供しなければなりませんので、そういった細かいサポート体制はとて心強いです。そして、これからも使い手の理にかなった建設機械をつくり続けてほしいと思っています。



◎かのひろあき
1994年8月東北リース代表取締役就任。
宮城県建設機械リース業協会会長、日本建設機械レンタル協会宮城支部長、宮城県レンタカー協会中央支部長を兼務

◎さくらいとしかず
1980年に日立建機に入社。同東北支社秋田支店長、レック東北取締役社長、日立建機レック取締役社長などを歴任し、2015年に日立建機日本取締役社長に就任